

日本経済新聞

7月4日  
金曜日

発行所 日本経済新聞社  
 〒100-8702 東京都千代田区有明2-2-1  
 電話 03-5561-3111  
 03-5561-3112  
 03-5561-3113  
 03-5561-3114  
 03-5561-3115  
 03-5561-3116  
 03-5561-3117  
 03-5561-3118  
 03-5561-3119  
 03-5561-3120  
 03-5561-3121  
 03-5561-3122  
 03-5561-3123  
 03-5561-3124  
 03-5561-3125  
 03-5561-3126  
 03-5561-3127  
 03-5561-3128  
 03-5561-3129  
 03-5561-3130

# 樹脂回収、再び中間膜に

## 廃車ガラス、リサイクル

### フロントガラスの飛散防止

鉄スクラップ卸の大越工業(福島県須賀川市、大越幸男社長)は、廃車のフロントガラスから飛散防止用中間膜に使うポリビニルブチラール(PVB)樹脂をほぼ100%の純度で回収し、中間膜に再利用する技術を確認した。ガラス類は金属類に比べ回収が難しく、再利用が進んでいない。大越工業は全国で廃車ガラスの買い取りに乗り出す考えで、リサイクル率向上につながりそう

### 大越工業

大越工業は経済産業相などが認定する全部再資源化事業者。使用済み自動車用の全量リサイクルに取り組んでいる。比較的にリサイクルが簡単な金属類だけでなく、ガラスも再資源化する技術を持つ。

今回開発したのは、P



回収したPVB樹脂は、再び自動車向けに利用できる

VB樹脂を回収し、中間膜として再利用する技術。フロントガラスは衝突時に破片が飛び散りにくいようにガラスの間に中間膜を挟む構造となっている。ガラスを破砕して中間膜を取り出すのが、細かいガラス片が付着するため回収が難しかった。

昨夏、福島県の助成を受け、日本大学工学部(郡山市)と共同で実用化を開始。アルコールなどを含む特殊な溶剤で回収する技術を開発したが、溶剤分解したPVB樹脂は接着剤としてしか再利用

できなかった。今回新たに高温高圧でかくはんするオートクレーブと呼ぶ機械と純水を使い、ガラス片を分離可能にした。九九・九九%の純度で回収可能という。

日本では年間約三百八十万台の廃車が発生。このうち約九割は破砕処理され、車両重量の一割弱を占めるガラスも大半が埋め立てられる。廃車の約一割は大越工業などの全部再資源化事業者によって再利用されるが、ガラス類は大越工業などごく一部の業者しか再資源化していないのが現状だ。

政府は自動車メーカーなどにに対し、二〇一五年までにリサイクル率を九五%以上に引き上げるよ

う求めている。今後ガラスや中間膜の再利用が進めば、現在八〇%台前半とみられるリサイクル率は、二割程度の向上が見込めるといふ。